# ジュルミチ谷

愛知川〜銚子ガ口

滋賀県神崎郡
永源寺町

1994 平成6年 6月11日調

作成: 奥村光信 69才
春日井(0568-51-7462)

S 1/5000

0 50 100 150 200 250 300M

至 縦走路〜大峠〜イブネ

最高点
銚子ガ口 1,076.8M 16:50

快晴の夕日と鈴鹿の山の大展望を滋賀県側から見ながら感動。

いちばん日の長い時期を選んで来たのに、もう16:50とは驚いた。あと1時間30分で公園事務所(宿泊予定場所)へ到着しなくてはならない。コースタイムは約2時間で急がなくてはならない。北尾根まで45分、あとは小走りで下れば何とかなる。

銚子ガ口北峰 1,070.3 16:46

踏跡ハッキリ

分岐 17:03

廃道化

北尾根からゆずりほ〜公園事務所泊

車道へ 18:35　18:50着

途中北尾根

須谷川分岐 17:37
尾根を右へ巻く 17:40
小谷を渡る 18:03
ジグザグ道入り 18:15
小谷丸太橋 18:28
御嶽主登り口 18:31
新車道 18:35
(銚子ガ口登山口) 330M
ゆずりほ旧道 18:38
公園事務所 18:50 330M

(広瀬屋酒店へ寄る)

翌6/12はセンコ谷〜八丁峠〜田光

行き

朝明ヒュッテ先の伊勢谷小屋前タクシー下車 9:00

白滝谷分岐 10:00
造林小屋前 10:55
白滝谷出合で昼食 11:40〜12:10
12:20に愛知川渡る対岸へ
ジュルミチ谷出合 12:35〜12:40

瀬戸峠分岐 16:10〜16:20

1時間25分も、どこでどうしてこんなに時間がかかったのであろうか？とにかく小枝にからまれて困難の連続だった。

瀬戸峠尾根道分岐

尾根端まで草に枝に岩崖につかまってよじ登ると、カモシカの糞の溜り場に着く。もうここからは尾根道もハッキリして、うまく登れるかと思ったが、前面に立ちはだかるシャクナゲ林の群生と、雑木林の枝、足場も悪く右往左往で約1時間を要す。

尾根端カモシカ糞

瀬戸峠の尾根

至瀬戸峠

瀬戸峠尾根道分岐 16:00

ハッキリした道へ

瀬戸峠の尾根が見える

この間はまま

途中休憩しながら登る

60分

大岩壁

こんより踏跡あり

4M

目前には大岩壁が立ちはだかり、25Mの大滝岩壁が可現れる。

(進退極む)

25M

枝ぶせ

谷の終点 14:30〜14分

820M

もうこれ以上は進めない、右を見上げれば、踏跡のある斜面が見える。

ではこの尾道を登ることに決意して取り付く。

岩崖急登

踏跡あり

もうこれ以上は岩壁にはばまれて進めない 14:21

5M 1.5M 1.5M

カメ4M

3M 2M

800M

730

二又 14:06

750M

20分←→15分

14:03

14:00

13:58

660M

二又 13:45〜13:48

700M

25分←→20分

650M

水流あり 13:23

二又

ウンクラ谷

45分←→30分

瀬戸峠分岐点
カマ跡と道標あり

20←→15分

峠越えでゆずりほ

545M

ジュルミチ谷出合

H6.6.11 晴 金

12:35〜12:40

対岸から取水口へ

右岸渡渉点

20分←→15分 高差

至白滝滝出合まで

谷の終点行き止まりまでは約2時間で、案外スムーズに歩けるが、そこから右の尾根に登り詰め、銚子ガ口までは、シャクナゲ林と樹林の中での格闘である。

約1時間は険しい

とにかくこの嫌な急斜面を登って銚子ガ口に登頂し、北尾根を下って、ゆずりほの部落へ下山し、缶ビールを買って公園事務所まで行かねばならない。滑りそうな岩崖斜面はかなりガレており、一歩一歩慎重に岩角につかまってはよじて登ること10分でカモシカの糞場に到着する。この先見上げても獣道はハッキリせず、もう登りやすい樹林の間を縫っては登高する。

シャクナゲ林には往生する。そこを嫌っては右に左にくぐり抜けて前進。とにかくいちばん高い尾根筋を外さないように登り詰める。

近鉄名古屋発 ひかり急行
湯の山駅よりタクシー利用

ジュルミチ谷とはおかしな名称、一度は名前にひかれて入ってみたい気持になる。しかし時間を計算し、暗くなる前にゆずりほ公園事務所に着く必要があるので、少しでも早くこの駅前よりタクシー利用で伊勢谷小屋前へ9:00に到着する。¥2,820円